

## 研究へのご協力のお願い

この度、東京歯科大学水道橋病院薬局において下記内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

### 1. 研究課題名

歯科医療における抗菌薬使用動向と薬剤耐性対策の現状と課題

### 2. 研究目的

研究分担者	所属及び職名	氏名
	神奈川歯科大学附属病院薬剤科薬局長	山崎 勇輝
	日本歯科大学新潟病院薬剤科 科長	竹野 敏彦
	北海道医療大学病院薬剤部 薬局長	岩尾 一生
	岩手医科大学附属病院歯科医療センター	佐藤 浩二
	奥羽大学歯学部附属病院 薬局長	高橋 浩子
	日本大学松戸歯学部附属病院薬剤室責任者	小松崎 康文
	明海大学歯学部附属明海大学病院 薬局長	内沼 達弘
	日本歯科大学附属病院薬剤室 室長	田中 秀弥
	東京歯科大学千葉歯科医療センター 主任	木村 英晃
	昭和大学歯科病院薬局 薬局長	阿部 誠治
	鶴見大学歯学部附属病院 薬局長	斎藤 義夫
	松本歯科大学病院	花岡 平司
	愛知学院大学歯学部附属病院	鵜飼 孝子
	朝日大学医科歯科医療センター 薬局長	岡安 伸二
	大阪歯科大学附属病院薬剤科 薬剤師長	上中 清隆
	福岡歯科大学医科歯科総合病院 薬局長	外尾 典子
	神奈川歯科大学附属横浜クリニック 薬局長	飯村 恵理子

目的：2016年に薬剤耐性対策アクションプランが公表され、抗菌薬適正使用がさらに求められており、特に経口抗菌薬使用量が問題となっています。歯科領域において第三代セフェム系、マクロライド系、キノロン系抗菌薬の経口投与が多く、これは薬剤耐性対策アクションプランにおいて成果指標として使用量削減が設定されています。しかし歯科大学病院において薬剤耐性対策の現状や各施設間で抗菌薬使用量の比較検討を行った研究は少ないです。よって各歯科大学病院における薬剤耐性対策の現状を調査し、さらに抗菌薬使用量を各施設間で比較できるような指標（抗菌薬使用密度や抗菌薬使用日数）を用いて調査します。調査デ

ータを比較検討し、有効な薬剤耐性対策や抗菌薬使用動向を明らかにします。

意義：各歯科大学病院の薬剤耐性対策の現状と使用動向の関連性を比較検討し、より有効な薬剤耐性対策を共有することによって歯科医療における抗菌薬適正使用に寄与できます。

### 3. 研究方法

2019年10月にサワシリンカプセル等の経口抗菌薬を使用した外来、入院された患者様全員と2019年10月にセファゾリンNa等の注射抗菌薬を使用した外来、入院された患者様全員を対象にカルテより抗菌薬の使用量の調査を行います。

### 4. 研究期間

2020年1月10日～2021年3月31日になります。

### 5. 個人情報等の取り扱い

患者様の個人情報は厳重に守られます。本調査では学術論文で発表したり新たな臨床研究の資料とすることがありますが、「カルテ番号、生年月日、氏名、住所、電話番号、それらの組み合わせ」等の個人を識別できるような情報は完全に保護され、公表される事はありません。

### 6. 研究に関する情報公開の方法

研究を匿名化して学会講演、学術誌、論文で発表します。

### 7. 研究協力者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究は患者様のカルテの情報を元に行いますので、患者様に新たな負担並びに予測されるリスクはございません。

今後の歯科医療における抗菌薬適正使用に寄与できると思われれます。

### 8. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

### 9. 研究協力への同意と撤回の自由

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

### 10. 費用等に関すること

本研究に同意されることによる新たな費用の負担はありません。

また、交通費や謝礼金はありません。

本研究の実施に関連する開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

東京歯科大学 水道橋病院 薬局

研究責任者（情報管理責任者） 山根 理恵子

連絡先 03-5275-1974(代)